



## 嶺南地域における地域公共交通網形成計画策定にかかる調査事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課		課長名	西野 光			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン	[ 新幹線敦賀開業・中部縦貫道全通プロジェクト ]			関連する県の計画等			[ 福井県高速交通開通アクション・プログラム ]							
<p>[事業目的]</p> <p>2023年春の北陸新幹線敦賀開業を契機に、嶺南地域における交流人口を拡大し、開業効果を嶺南地域全体に波及させるためには、敦賀駅を拠点とした、利便性の高い地域交通ネットワークを実現する必要がある。このため、JR小浜線を軸とした嶺南地域の公共交通網形成計画を策定し、小浜線の利便性向上や利活用促進、主要駅でのバス等、他の交通手段との結節強化を図る。</p>															
<p>[事業内容]</p> <p>嶺南地域公共交通網形成計画の策定（策定時期 2019年秋頃）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県、嶺南6市町、舞鶴市、交通事業者等から成る協議会による現況、課題の整理</li> <li>・ 嶺南圏域の公共交通の現況、利用実態調査、住民意識調査等の実施</li> </ul> <p>新幹線開業までの実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小浜線の施設改善・利便性向上（新幹線に合わせたダイヤ改善、途中駅での折り返し運行実施による運行区間弾力化等）</li> <li>・ 小浜線を補完する機能の充実（敦賀・舞鶴間的高速バスの運行、鉄道駅でのバスとの結節強化等）</li> <li>・ 小浜線の魅力向上（嶺南地域の特産品を使った食を提供する列車、SLの運行等）</li> </ul>															
[受益者] 嶺南地域住民、北陸新幹線敦賀開業で嶺南地域を訪れる観光客						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況		計画を策定するために立ち上げる協議会の委員に、県および市町（企画担当課長、交通担当課長、観光担当課長）が就任し、計画策定に参画							
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価							
・ 協議会の設立、開催（3回） ・ 圏域の現況調査、公共交通利用実態調査の実施				平成30年度で圏域の現況調査、公共交通利用実態調査が完了。平成31年度は計画（案）をとりまとめ、秋頃に計画を策定する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	△ 14,702				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## 嶺南地域における地域公共交通網形成計画策定にかかる調査事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営												
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	459				459	その他：嶺南市町負担分							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点						
当初予算額の推移					15,161	459	・平成30年度で圏域の現況調査、公共交通利用実態調査が完了。平成31年度は計画(案)をとりまとめ、秋頃に計画を策定する。						
2月現計予算額の推移					3,790								
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	(目標) 実績						計画策定のための調査事業であり、成果指標の設定になじまない ※2019年秋ごろを目途に、嶺南地域における地域公共交通網形成計画を策定する						
活動指標	(目標) 実績				(3)	(2)	嶺南地域公共交通網形成計画策定委員会の開催						
他県の状況	JR線を軸として計画を策定している他県の例 富山県：城端線・氷見線沿線地域公共交通網形成計画（平成29年3月策定） 京都府：JR山陰本線（園部～綾部）沿線地域交通網形成計画（平成29年3月策定）					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					

## 生活バス路線確保対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課		課長名	西野 光		
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H13 年度 経過年数 19 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度
事業実施方法	補助													
補助率	①：国1/2、県1/2    ②③：市町1/2、県1/2													
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な県土 ] 政策 [ 電車・バス・自動車の利活用拡大 ]				関連する県の計画等		[ 福井県高速交通開通アクション・プログラム ]							
[事業目的]														
地域住民の生活に必要不可欠な生活バス路線の運行を維持し、地域住民の福祉向上を図る。														
[事業内容]														
○生活バス路線維持のための補助 ①地域間幹線系統確保維持費補助、車両減価償却費等補助（国庫） ②広域生活バス路線維持対策事業補助（県単：複数市町運行系統） ③市町生活交通維持支援事業補助（県単：同一市町内運行系統）														
[受益者] バス利用者（通学者、通勤者、高齢者、来県者等）						[想定される受益者数] バス利用者約570万人								
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有      事業名    バス事業活性化対策推進事業 （実績） ノンステップバスの導入および廃止路線代替バスの運行費に対する補助のみであったが、バス利用者数の減少等により事業者の採算性の確保が困難となってきたことや、市町コミバスの導入が進んできたことから、広域路線の運行費については事業者に、同一市町町内路線の運行費については市町に補助を行っている。				市町との連携状況		各市町は、コミバスや乗合タクシーの運行および市町内の路線バスへの補助を行い地域の生活交通の確保に努めており、県は市町のこれらの取組に対し補助を行っている。						
[事業の評価]														
前年度の実績			実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価							
人口減少や運転手不足の影響がある中、路線の効率化を図るべくダイヤ・ルート見直し等の再編を行った。また、生産性向上の取組みを行い、収支悪化の改善や利用者確保に努めた。			市町や交通事業者と共に、昨年度から開始した生産性向上の取組みについて協議し、引き続き赤字削減に向けて取り組む。人口減少や少子高齢化が進む中、地域にとって最適な公共交通ネットワークについて協議していく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## 生活バス路線確保対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H13 年度 経過年数 19 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度
事業実施方法	補助								<input type="checkbox"/> その他				
補助率	①：国1/2、県1/2 ②③：市町1/2、県1/2												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	488,510				488,510	地域間幹線系統確保維持費補助金、車両減価償却費等補助金							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点						
当初予算額の推移		461,069	461,946	463,764	489,099	488,510							
2月現計予算額の推移		459,482	461,946	463,764	489,099								
決算額の推移		453,703	458,930	461,845									
前年度までの 主な増減理由	路線再編に伴う国庫補助路線の増加 車両更新台数の増加												
[成果指標等の推移]													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	バス利用者 (目標)	(6,104)	(6,073)	(6,030)	(5,993)	(5,956)	乗合バス(路線バス・コミバス等を含む)の年間利用者人員数 (単位：千人)						
	実績	5,884	5,866	5,943									
活動指標	補助対象バス実車走行和 (目標)			(8,667)	(8,667)	(8,755)	乗合バス(路線バス・コミバス等を含む)の年間実車走行キロ数 (単位：千km)						
	実績	9,039	8,667	8,755									
他県の状況	(富山県) ①地域間幹線系統確保維持費補助、車両減価償却費等補助 ②生活路線運行費補助金(同一市町村内の路線でも補助対象となる以外、国庫補助と同じ規定) ③市町村運行バス路線対策費補助金(コミバス) ④NPO過疎地バス路線支援事業費補助金  (石川県) ①地域間幹線系統確保維持費補助、車両減価償却費等補助 ②県単運行費補助、車両購入費補助					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					

## クルマに頼り過ぎない社会づくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課		課長名	西野 光
事業主体	県、市町、交通事業者				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度
事業実施方法	負担金							<input type="checkbox"/> 補助金				
補助率								<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な県土 ] 政策 [ 美しい県土、楽しく便利なまちの形成 ]				関連する県の計画等		[ ]					
[事業目的]												
過度なクルマ利用を見直し、公共交通機関や自転車等への転換を促すカー・セーブ運動を「クルマに頼り過ぎない社会づくり推進県民会議」が中心となり、社会全体で取り組む県民運動として推進する。												
[事業内容]												
○福井県クルマに頼り過ぎない社会づくり推進県民会議運営 ・県民会議を中心として県内各地の関連イベントでの啓発活動等による県民へのカー・セーブ運動の周知・PRの実施、バイコロジー活動に対する支援。												
[受益者] 県民（公共交通機関、自転車、自動車利用者）など							[想定される受益者数] ー					
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ノーマイカー交通促進支援事業 (実績) ノーマイカーデーはH11年度から毎月1日、16日に実施していたが、H20年度から金曜日に公共交通機関や自転車利用、相乗りの実施等によりクルマの利用を控える「カー・セーブデー」に拡大。(H20年度は第2・4金曜日、H21年度以降は毎週金曜日)					市町との連携状況		県民会議の構成員である各市町において、街頭キャンペーンやチラシ・啓発グッズ配布、広報誌やCATVで広報活動を実施している。			
[事業の評価]												
前年度の実績			実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価					
これまで別々に活動していた「福井県健康バイコロジー推進協議会」を県民会議に統合。国体開催時の渋滞削減に向け、電車・バス・自転車を組み合わせたカー・セーブ運動推進を実施。県内各地で「カー・セーブ運動」の普及啓発活動や広報活動等を実施した。こうした活動が高く評価され、2度の大臣表彰（EST交通環境大賞）の大賞（環境大臣賞）、「交通関係環境保全優良事業者等大臣表彰」の国土交通大臣賞受賞を受賞した。			今後は北陸新幹線敦賀開業に向けて、県内の交通情勢の変化（バス路線の再編、電車のダイヤ変更、並行在来線等）を県民に広く周知する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

## クルマに頼り過ぎない社会づくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光			
事業主体	県、市町、交通事業者				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度
事業実施方法	負担金													
補助率														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	2,769			(諸) 0	2,769									
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点							
当初予算額の推移		14,337	14,093	13,481	13,496	2,769	・平成31年度から県民会議への負担金のみを計上(△10,727千円)							
2月現計予算額の推移		14,337	14,093	13,481	13,496									
決算額の推移		13,514	12,557	10,107										
前年度までの 主な増減理由		・平成29年から「ばす・でんしゃナビふくい」の運用を廃止。(△1,174千円)												
[成果指標等の推移]														
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	県内公共交通機関利用者数	(目標) 11,360 実績 11,433	(目標) 11,353 実績 10,844	(目標) 11,336 実績 11,547	(目標) 11,315	(目標) 11,366	鉄道は連携計画記載の目標利用人数により、バスは人口減少率をもとに算出。							
活動指標		(目標)												
他県の状況		(富山県) ①「富山県公共交通利用促進協議会」を設置し、ノーマイカー運動を実施し、チラシ作成・配布や広報活動を実施。(構成員：県、市町村、交通事業者、経済界および利用者) ②「乗りたくなる公共交通推進事業補助金」(公共交通の利用促進を目的とした、実際に公共交通を利用した企画を実施する経費に対して支援)				関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 生活バス路線確保対策維持事業 (役割分担)  生活バス路線維持のための補助を実施						
		(石川県) ①「生活バス利用促進対策費補助金」(バス事業者や市町、協議会等が取り組む先駆的・効果的な利用促進策に対して助成)												

## 「永平寺参ろ一ど」自動走行実用化研究事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課		課長名	西野 光				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度		
事業実施方法	委託								□ 補助金						□ その他	
補助率	—								□ 法定受託事務						□ その他	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な県土 ] 政策 [ 美しい県土、楽しく便利なまちの形成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県高速交通開通アクション・プログラム ]									
[事業目的]																
自動走行の実用化を早期に進め、過疎地域の交通手段確保につなげるため、「永平寺参ろ一ど」において安全対策等を検証する。																
[事業内容]																
(1) 完全無人走行における歩行者への安全対策の検証 (2) 交差点の通行量や道路状況などに応じた交通処理の検証																
[受益者] 沿線住民、観光客						[想定される受益者数] —										
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有      事業名    自動走行基盤整備支援事業 (実績)  永平寺町が行う、クルマの自動走行実証実験に必要な「永平寺参ろ一ど」の整備（道路の改修・舗装等）を支援					市町との連携状況		自動走行実用化の前提となる安全対策について検証することにより、永平寺町と協働して参ろ一どにおける自動走行事業化を進める。								
[事業の評価]																
前年度の実績			実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価									
交差点における安全対策の検証を完了			一定の効果があったため終了				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額						
							<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	△ 19,231						
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他							



## 「永平寺参ろーど」自動走行実用化研究事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	委託												
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額													
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点						
当初予算額の推移					19,231								
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	(目標) 実績						平成32年度の自動走行実用化に向けた研究事業であり、成果指標の設定になじまない						
活動指標	自動走行の安全対策の検 証 (目標) 実績				(完了)		交差点における安全対策の方法(信号機、遮断機など)を検証						
他県の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都 実証実験に係る共同利用可能な設備調査検討 実証実験を行う事業者が共同で利用可能な設備について調査</li> <li>・愛知県 自動運転新ビジネス創出支援 新事業や新ビジネスの創出を目指す企業を支援するため、インフラ・ データ、自動車本体、モビリティサービスのテーマ別に研究会を設置</li> </ul>					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					

## 北陸新幹線三駅周辺整備推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課		課長名	西野 光
事業主体	あわら市、越前市、敦賀市				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度
事業実施方法	補助							<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
補助率	国庫補助を除いた市負担額の1/2							<input type="checkbox"/> その他				
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な県土 政策 [ 美しい県土、楽しく便利なまちの形成 ] ]				関連する県の計画等		[ 福井県高速交通開通アクション・プログラム ]					
[事業目的]												
北陸新幹線敦賀開業に向け、新幹線駅周辺の整備をより一層加速させるため、新幹線駅所在市が主体的に進める駅周辺整備に対して補助を行う。												
[事業内容]												
補助対象事業	新幹線駅所在市が策定する駅周辺整備計画等に位置付けられる事業で、駅周辺の賑わい創出や乗換利便性確保に必要な施設として、知事が認めるもの											
補助対象市	あわら市、越前市、敦賀市											
補助率	市負担額の1/2以内											
事業実施期間	平成29年度～平成34年度（県内開業年度）											
補助限度額	1市あたり3億円											
[受益者] あわら市、越前市、敦賀市、駅利用者、観光客など						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況		駅周辺整備委員会、協議会等に委員またはオブザーバーとして参加 芦原温泉駅 芦原温泉駅周辺整備基本計画改定委員会 芦原温泉駅周辺賑わい創出協議会 南越（仮称）駅 北陸新幹線南越駅周辺整備基本計画策定委員会 越前市道の駅運営管理予定者選定委員会 南越駅周辺まちづくり計画策定委員会 敦賀駅 駅周辺整備構想策定委員会				
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価				
・H30年度補助（49,107千円） あわら市 西口賑わい空間（12,500千円） 越前市 駅前広場、観光交流センター・多目的広場等（19,089千円） 敦賀市 緑化空間・駐車場（17,518千円）				・H31年度補助（234,751千円） あわら市 西口交通広場・西口賑わい空間（38,472千円） 越前市 駅前広場、観光交流センター・多目的広場等（48,669千円） 敦賀市 緑化空間・駐車場、散策路連絡橋（147,610千円）				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 北陸新幹線三駅周辺整備推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光	
事業主体	あわら市、越前市、敦賀市					事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)
事業実施方法	補助											
補助率	国庫補助を除いた市負担額の1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	234,751				234,751							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点					
当初予算額の推移				73,305	87,388	234,751						
2月現計予算額の推移				73,305	49,107							
決算額の推移				71,934								
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H29年度補助(71,934千円) あわら市 対象なし(0円) 越前市 駅前広場、観光交流センター・多目的広場等(70,401千円) 敦賀市 緑化空間・駐車場(1,533千円)</li> <li>・ H30年度補助(49,107千円) あわら市 西口広場(12,500千円) 越前市 駅前広場、観光交流センター・多目的広場等(19,089千円) 敦賀市 緑化空間・駐車場、散策路連絡橋(17,518千円)</li> </ul>											
[成果指標等の推移]												
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	(目標) 実績						新幹線駅の周辺整備を促進するため補助するものであり、成果指標の設定になじまない。					
活動指標	(目標) 実績						新幹線駅の周辺整備を促進するため補助するものであり、活動指標の設定になじまない。					
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				

## 県都デザイン戦略推進支援事業（補助金）

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課		課長名	西野 光
事業主体	福井市				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度
事業実施方法	補助							<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
補助率	国庫補助を除いた市負担額の1/2以内							<input type="checkbox"/> その他				
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な県土 ] 政策 [ 美しい県土、楽しく便利なまちの形成 ]				関連する県の計画等		[ 県都デザイン戦略 ]					
[事業目的]												
<p>県都デザイン戦略において、北陸新幹線敦賀開業に向け、中期に実施することとした事業を推進することにより、都市の魅力を高め、次の世代に受け継ぐ県都のまちづくりを進める。</p>												
[事業内容]												
<p>○県都デザイン戦略に位置付けた、中期目標年次（北陸新幹線敦賀開業）までに実施する福井市の事業に対して補助  ○補助スキーム  ・ 県都デザイン戦略を機に、新たに実施する事業（平成31年度～34年度までの4か年のうち、単年もしくは連続する4か年以内の期間）  ・ 社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）を活用して行う事業（その他の国、県の補助対象事業を除く）  ○補助対象事業  ・ 城址周辺道路整備事業（H31～H33）</p>												
[受益者] 福井市、観光客						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績			実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価					
<p>県都デザイン戦略に位置付けた短期事業に対し、支援を実施した。福井国体までを短期目標年次とし、整備を進めてきた福井市中央公園や城址周辺道路が完成した。（29年度からの繰越事業）</p>			<p>これまで県都のまちづくりを進めるため、短期目標年次までに実施すると位置付けられている福井市の事業に対し補助を実施し、すべての対象事業が完了した。今後は、次の目標である中期目標年次までに実施する事業に支援し、県都のまちづくりを加速させる。</p>				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

## 県都デザイン戦略推進支援事業（補助金）

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光	
事業主体	福井市					事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)
事業実施方法	補助											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,250					3,250						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点					
当初予算額の推移		161,714	133,379	110,000		3,250	新たに県都デザイン戦略に位置付けた、中期目標年次（北陸新幹線敦賀開業）までに実施する福井市の事業に対して補助を実施					
2月現計予算額の推移		153,688	118,439	110,000								
決算額の推移		153,688	118,439	110,000								
前年度までの 主な増減理由	・福井市が県都デザイン戦略において、福井国体開催に向け、短期に実施することとした中央公園、県庁線、城址周辺道路の整備に対する補助が完了（平成25～29年度）											
[成果指標等の推移]												
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	(目標) 実績						福井駅周辺の整備を促進するため補助するものであり、成果指標の設定になじまない。					
活動指標	(目標) 実績											
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					

## 県都デザイン戦略推進事業（山里口御門・福の井利活用推進事業）

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課		課長名	西野 光				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度		
事業実施方法	直営、委託								□ 補助金						□ その他	
補助率	—								□ 法定受託事務						□ その他	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な県土 ] 政策 [ 美しい県土、楽しく便利なまちの形成 ]				関連する県の計画等		[ 県都デザイン戦略 ]									
[事業目的]																
復元整備が完了した山里口御門や福の井を活用し、県民や県外客が楽しみながら歴史を感じることもできる仕組みづくりを行う。																
[事業内容]																
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福井城址おもてなしブース設置（2,602千円）</li> <li>・ 山里口御門・福の井を活用したイベントの開催（春・秋）（983千円）</li> <li>・ 山里口御門リーフレット、福井城復元アプリチラシ印刷（281千円）</li> </ul>																
[受益者] 福井城を訪れる観光客						[想定される受益者数] 約5万人										
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有      事業名    県都デザイン戦略推進事業（山里口御門整備事業） （実績） ・ 「福井城址」を核とした県都の再生として、歴史を生かした福井城址と中央公園の一体的な再整備や、県民会館跡地周辺の先行的な利活用を進めるため、平成19年度に復元した御廊下橋の動線上に位置する山里口御門を復元。（平成25～29年度）				市町との連携状況										
[事業の評価]																
前年度の実績			実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福井城復元アプリの制作</li> <li>・ おもてなしブースの設置、運営（68日） （水汲み 969人、お茶ふるまい 5,237人）</li> <li>・ 山里口御門・福の井を活用したイベントの開催 （春 延558人、秋 延989人）</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ARアプリの作成が完了</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額						
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	△ 12,527						
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他							

県都デザイン戦略推進事業（山里口御門・福の井利活用推進事業）

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H30 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	H34 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,866	1,933			1,933							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点						
当初予算額の推移				18,262	3,866	・福井城復元アプリが完成したため減 ・山里口御門完成記念誌報告書が完成したため減						
2月現計予算額の推移				18,262								
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	・アプリ利用者数 (目標) 実績					・利活用イベントを2回実施 1,000人						
活動指標	・イベント来場者数 (目標) 実績			(500) 1,547	(1,000)							
他県の状況					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					

## 小松空港国際定期路線開拓推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課		課長名	西野 光		
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度
事業実施方法	直営、補助													
補助率	1人あたり5千円、1団体上限10万円													
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な産業 ] 政策 [ 観光フロンティア・福井 ]				関連する県の計画等		[ ]							
[事業目的]														
小松空港と香港をはじめアジア各国を結ぶ国際線の定期路線開拓を後押しすることにより、ビジネス・観光両面での交流人口拡大を図る。														
[事業内容]														
(1) 県民による国際線利用促進〔2, 114千円〕 ①各種広報媒体を利用した県民向け利用促進プロモーションの実施 ・電車中吊り広告、ラジオスポットCM、周知チラシ作成（旅行会社、市町等に配布） ②小松空港国際線誘致に向けたタイ・香港への職員派遣 ・石川県とともにタイ・香港の政府機関や航空会社を訪問し、定期便誘致を協議 ③小松空港国際定期便を利用する場合の国際交流費助成（補助金） ・小松空港国際線を利用し、訪問先と国際交流事業を実施または福井県を訪問する団体受け入れ、国際交流事業を実施する福井県内の団体に対し助成 ・対象経費：国際交流事業の経費（交流会費、講師謝金、通訳費等） ・補助額：1人あたり5千円（1団体100千円上限） ・対象者：経済、文化、スポーツなどにより国際交流事業を実施する福井県内の団体（親善協会、スポーツ協会等）														
[受益者] 小松空港国際線の利用者など						[想定される受益者数] 約15千人（小松空港国際線を利用する福井県民・推計）								
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況								
[事業の評価]														
前年度の実績			実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価							
・電車中吊り広告（9月）、ラジオスポットCM（9月）、チラシの配布を実施 ・国際交流事業を実施する県内団体に対して助成			・国際線誘致に向けたタイ等への職員派遣費用を追加				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					



## 小松空港国際定期路線開拓推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光						
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	□ 実行予算		事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度		
事業実施方法	直営、補助						□ 法定受託事務			□ 補助金						■ その他	
補助率	1人あたり5千円、1団体上限10万円																
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	2,114	1,057				1,057		地方創生推進交付金									
[予算額の推移等]												(単位：千円)					
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点										
当初予算額の推移				2,368	2,240	2,114											
2月現計予算額の推移				2,368	2,240												
決算額の推移				1,421													
前年度までの主な増減理由																	
[成果指標等の推移]																	
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠										
成果指標	国際定期路線の開拓 (目標) 実績						国際定期路線の開拓を後押しするものであり、成果指標の設定になじまない。										
活動指標	県内団体への補助 (目標) 実績			(10)	(10)	(10)											
他県の状況	小松空港国際定期便利国際交流事業促進助成金（石川県） 対象者：小松空港発着の国際定期便により、韓国、中国または台湾を訪問したり、現地の団体を受け入れて国際交流事業を実施する石川県内の団体 対象経費：国際交流事業の経費（交流会費、講師謝金、通訳費等） 補助額：1人あたり5千円（1団体100千円上限）					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 小松空港国際線利用促進事業 （役割分担）  本事業においては、福井県民向けに特化した広報を行うほか、国際定期路線を利用した国際交流事業を行う県内団体への補助を行う。									

## 小松空港国際線利用促進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光			
事業主体	小松空港国際線利用促進同盟会				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H18 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度		
事業実施方法	負担金													
補助率	—													
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な県土 ] 政策 [ 美しい県土、楽しく便利なまちの形成 ]				関連する県の計画等		[ ]							
[事業目的] 福井・石川両県の行政や経済界等からなる小松空港国際線利用促進同盟会を通じ、上海便など小松空港国際線の利用促進を行う。														
[事業内容] ○小松空港国際線利用促進同盟会負担金 (主な活動内容) <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞やラジオなどによる広報活動</li> <li>・両県でのショッピングセンターや主要駅におけるキャンペーン</li> <li>・就航国との連携イベントにおける双方向でのPR</li> <li>・就航国の現地取材による旅行記事の雑誌掲載</li> <li>・テレビでの旅行番組の放映によるPR</li> <li>・チャーター便旅行商品に係る広報への支援</li> </ul>														
[受益者] 小松空港国際線の利用者など						[想定される受益者数] 約15千人(小松空港国際線を利用する福井県民・推計)								
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況								
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価						
平成30年4月から10月にかけて香港チャーター便が36便運航された。ソウル便、上海便、台北便を合わせた平成30年度9月末の国際線旅客数は112,764人(前年比129.6%)と前年度より増加している。				4月より香港定期便が新規就航することから、路線の継続的な運航に向けた支援を行う。				<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

## 小松空港国際線利用促進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	西野 光	
事業主体	小松空港国際線利用促進同盟会					事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H18 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)
事業実施方法	負担金											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	7,500				7,500							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点					
当初予算額の推移		2,500	2,500	2,500	2,500	7,500	平成31年4月より香港定期便が新規就航することから、路線の継続的な運航に向けた支援を行う。					
2月現計予算額の推移		2,500	2,500	2,500	2,500							
決算額の推移		2,500	2,500	2,500								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	小松空港国際線利用人員 (目標) 実績	172	178	176			小松空港国際線定期便の年間利用人員 (単位：千人)					
活動指標	PR活動実施 (目標) 実績	2	2	2								
他県の状況	石川県負担金 10,000千円					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 小松空港国際定期路線開拓推進事業 (役割分担)  本事業による広報とは異なり、福井県民向けに特化した広報内容とするほか、国際定期路線を利用した国際交流事業を行う県内団体への補助を行う。				